



ADAL の取り組み

伝統を継承していくために、
私たちにできること。

い草を使った商品開発の一環として、アダルでは社員自身が産地での田植えや収穫の刈り取りの活動に参加しています。い草は、冬の寒い時期に苗を植え、夏の暑い時期に収穫を迎えます。時には凍るほど冷たい水に手を入れて一つ一つ苗を植えていく、伝統がそのままに息づく作業。こうした取り組みの中で、私たち自身も、ものを大切にしたいという考えが自然と芽生え、またい草という自然素材のもつ優れた機能、心地よい風合いといった価値をあらためて見直す良き機会になっています。